

触媒学会会員の皆様

現在、COVID-19 感染がおさまる気配を見せておりますが、依然予断を許さない状況が続いています。

こういう状況におきましても、触媒学会の最も重要な行事である触討、第 126 回触媒討論会（静岡大学、浜松）の開催を強く宣言したいと思います。

学会発表申し込みを 5 月 20 日に締め切りましたが、会員諸氏の熱い思いで、発表申込件数がほぼ前年通りということになりました。

心よりお礼申し上げます。

制限されるかもしれない現地開催を、web 開催を併用しながら、日本中の触媒討論会ファンの皆様方とともに、発表、討論、提案、再会、出会いの場を分かち合いたいと思っています。

発表申し込みをされた皆様方の一部（ひょっとして全部？）には、状況により Web 参加をお願いすることになるかもしれませんが何卒ご了承を願いたいと思います。

今回の触媒討論会は、討論会委員会、現地実行委員会、前会長が招集した web 触討 WG が、「触討をやるぞ！」という「たぎる思い」を込めて創り上げるものです。

要するに、触媒学会が一丸となってみなさまをお迎えします。
どうぞ、楽しんでください。

新しい形の新しい触媒討論会を目指し、触媒学会は進化します。

令和 2 年 5 月 22 日

令和 2 年度会長 田中庸裕